

## 133 山口県と東京、物価は違うの？ 令和4年9月15日掲載

円安や紛争の影響もあり、食料や電気代、ガソリンなどが値上げされ、家計を直撃しています。

山口市の直近（令和4年7月）の消費者物価指数（総合）は103.0で、全国の102.3を0.7%上回っています。

消費者物価指数は同じ地域内での変化を表すもので、山口市は全国に比べ、昨今の物価の上昇率が高いと言えます。

しかし、山口県の元々の物価が高いかどうかはこれでは分かりません。総務省統計局は地域別の物価の差を明らかにするため、年に1度、消費者物価地域差指数を公表しています。

令和4年6月に公表された令和3年の山口県の指数（総合）は全国平均を100として、100.0でした。山口県の物価は全国平均とほぼ等しいのです。なお、最も高かったのは東京都、最も低かったのは宮崎県でした。

費目別に見てみますと、「食料」は東京都に比べ山口県は0.2%低い水準にとどまり、ほとんど差がありません。

「住居」は東京都が突出して高く、家賃の高さがうかがえます。山口県は全国に比べ約6%低く、中国地方では最も高くなりました。

次に「光熱・水道」は、山口県が東京都に比べ約16%高くなっています。一般的な世帯の使用量（令和4年6月、月額）において、山口市の電気代は東京都特別区部と比べ千円程度安いのですが、ガス代は3千円程度、水道代は400円程度高くなっています。

詳細は総務省統計局のホームページで公表されています。ご興味のある方はぜひご覧ください。

消費者物価地域差指数(全国平均=100)

